

科目名	現代の社会と人間	担当教員	佐藤 公博 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	必修	2年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23AB	①、③					

科目概要	「現代」の「社会」と「人間」のかかわりについて学ぶ。「社会」とは何か、という問いに対して多様な接近があることを前提にして、近代から現代へどのように社会が推移してきたのかを「自由」と「平等」という概念に向き合い、共に考える。そのうえで現代社会が抱える問題について考える。
学習目標	① 社会と人間のかかわりについて、近代から現代への推移を理解する。 ② 現代社会が抱える問題と医療とのかかわりを考え、「社会が求める医療者像」を描くことができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	「社会」とは何か～近代から現代への推移	近代から現代への推移を理解し、社会とはなにか、という問いへの構えを持つことができる。	
2	各論1	「社会」と「人間」のかかわり(1)	社会と人間のかかわりについて、理解する。	
3	各論2	「社会」と「個人」のかかわり(2)	「個人」という概念の始まりと、社会とのかかわりについて理解する。	
4	各論3	民主主義と現代社会(1)	自由主義と民主主義について、その本質を理解し、医療における具体的実践について理解する。	
5	各論4	民主主義と現代社会(2)	自由と平等は両立できるか、自己決定とは何かについて理解できる。	
6	各論5	現代と社会問題(1) 医療・保健・福祉制度	米国型と欧州型の制度を比較し、日本の医療制度改革の今後の流れを考える。	
7	各論6	現代と社会問題(2) 少子高齢社会	少子高齢社会の問題の本質を考える。	
8	各論7	現代と社会問題(3) 知識社会と情報社会	情報化によって社会と個人のかかわりが変化してきたこと、将来どのような社会で医療者として患者と向き合うのか、これまで学んだことをふまえて考える。	
評価方法		授業内での演習(50%)、筆記試験(50%)		
課題に対するフィードバック		授業中・終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない。授業内で資料を配布する。		
参考図書		適宜、授業内で提示する。		
学習の準備		(予習) 主な学習内容・到達目標を読み、用語を調べる。(60分)。 (復習) 理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にする。授業で考えたこと、新たに気づいたことを振りかえり、関連する項目について文献を読み、学んだことをノートにまとめる(120分)。		

オフィスアワー	水曜日 16:20~17:00
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	